

被災防県支部代議員会

従業員の安全教育徹底

建設業労働災害防止協会鹿児島支部(川畑俊彦支部長)は30日、鹿児島市の城山観光ホテルで第39回通常代議員会を開き、建設工事従業者に対する安全衛生教育の徹底を柱とする15年度事業計画を決めた。



手すり付き足場先行工法講習等の実施を決めた代議員会=鹿児島市の城山観光ホテルで

総会では、初めに川畑支部長が「厳しい経済環境下では、安全衛生活動へ取り組み意欲の低下が懸念される。我々は、中小工事業者を対象にした建設業安全衛生マネジメントシステムを確立すると共に、今年を『従業員の安全衛生教育元年』と捉え、付加価値の高い研修等を予定、労災半減を目標に会員一丸となって取り組んでいきたい」と

挨拶。同支部長を議長にしての議事では、14年度事業報告・決算、15年度事業計画・収支予算案を原案通り承認。新年度は、厚生労働省、国土交通省が重点に掲げている「建設

工事に従事する労働者に対する労働安全衛生教育に関する指針」に基づき労働者各層への安全衛生教育を徹底する。具体的には、墜落災害防止のための「手すり付き足場先行工法」講習を新規に実施することをはじめ、土砂崩壊災害防止のための土止め先行工法

技能士・後継者を育成

鹿児島建築工友会総会

鹿児島建築工友会(牧瀬光明会長)は30日、鹿児島市のアクアガーデン



新年度事業計画など審議した総会=鹿児島市のアクアガーデンホテル福丸で

ホテル福丸で第36期通常総会を開き、技能士及び後継者の育成や技術の向上などを盛り込んだ事業計画を決めた。

総会の冒頭、牧瀬会長が「厳しい経済及び経営状況ではあるが、会員一同が結束し、企業繁栄・業界発展に頑張っていこう」と挨拶した後、山之内浩二理事(南山之内工業)を議長に選出し、議案審議に入った。審議では、14年度事業報告及び収支決算報告、15年度事業計画案並びに収支予算案などを審議し、全て執行部原案通り可決承認した。新年度事業計画の基本方針は、①会員相互の親

県ダンブカー協会総会

交通安全教育を徹底

陸と連携で事業の発展、地位の向上及び福祉の増進、技能の向上等を図る②後継者育成を基本に、各安定所や各中学校、公共訓練校等で求人活動を行う③各事業所、技能検定受験に参加し、技能士などの育成を図る④ジュニア・マイスター技能体験教室への協力⑤かこしま技能競技大会への選手派遣など。



過積載防止策等を決めた総会=鹿児島市の城山観光ホテルで

県ダンブカー協会(川畑俊彦会長)は30日、鹿児島市の城山観光ホテルで第23回通常総会を開き、各種交通安全教育の実施や過積載防止策を重点とする15年度事業計画を決めた。

総会では、川畑会長が「ドライバーのマナーは向上しているが、現場から道路への出入り口における事故や荷台を完全に下ろさないまま走行するケースも見受けられた」と挨拶。

続いて、今長谷俊二鹿児島運輸支局長ら3人の来賓祝辞のあと、川畑会長を議長に議事に入り、14年度事業報告・決算、15年度事業計画・収支予算案など4議案を審議、原案通り可決承認した。新年度事業計画は、①交通安全教育(事業者・管理者研修、運転者講習)②過積載防止指導・パトロール③広報啓発活動④加入促進などを掲げている。

このほか、全国ダンブカー協会が今年度成立を目標としている安全車両&優良ドライバー認定制度(仮称)の件、九州ダンブカー協会連絡協議会開催(11月、鹿児島市)についての説明があった。



新年度事業計画等を決めた総会=鹿児島市のパレスイン鹿児島で

県消防設備安全協会総会

新会長に春山氏選出



春山紀生新会長

県消防設備安全協会(吉木植厚会長)は30日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で15年度第28回通常総会を開き、各種講習会の実施や会員の増強などを柱とする新年度事業計画案を可決した。

新会長に春山紀生氏(親栄電機(株))を選出した。総会では、初めに吉木会長が「消防法の改正などにより、さらに高度な知識、技術が要求されている。公益法人としての協会の使命である消防用設備等に関する専門業者の育成と資質の向上を推進していきたい。我々の仕事は信用が第一です。優秀な仕事をしたい。各

種講習会・実務研修会を積極的に実施する。新年度事業計画は、①新役員・表彰者は次の通り。役員・表彰者は次の通り。役員・表彰者は次の通り。

- 【新役員】会長=春山紀生(親栄電機(株))、副会長=後崎真鉄(専務理事兼任)、和田正憲(専務理事)、床次龍一(協会事務局長)、▽理事=島田実(鹿南電工)、鹿島和則(南霧島設備)、馬場聡志(南ファイアテック鹿児島)、奥田弘(南奥鹿児島)、奥田弘(南奥鹿児島)、奥田弘(南奥鹿児島)。
- 【表彰者】有馬逸(鹿アリマコボレーション)、松元耕一(鹿児島総合警備保障(株))、松原弘幸(鹿児島防災設備)、小山松一(鹿九電工鹿児島支店)、新名浩一(鹿協和電気商)、藤山博文(鹿南鹿島)、藤山廣繁(鹿光洋工業)、春山紀生(親栄電機(株))、高田幸三(高田電気(株))、長田芳郎(鹿立尾防

共通仕様書改正など解説

県等、建設技術研修会

県建設技術協会は30日、鹿児島市の県市町村自治会館で15年度建設技術研修会を開き、最近の動向や土木工事共通仕様書などの改正内容を学んだ。同日は、「道路事業を取り巻く最近の動向」、「行政環境の変化」、「建設リサイクルの施行から1年」、「土木工事共通仕様書の改正内容」などについて説明がなされ、発注機関の職員らは今後の道路行政の進め方などについて